

総合科学としての医療安全学

日本医療安全学会 理事長 酒井亮二

本学会は多職種による学際研究を大きな特徴としています。
多職種によるチーム医療は今日の医療の基本ですので、安全を多職種で取り組むのは当たり前です。

他方、学際観の観点からすると、医療安全学の下には以下のような学芸が見出されます。

医療安全の哲学:	リスク学、患者学、説明責任、
医療安全経営学:	組織論(ガバナンス・リーダーシップを含む)、患者参加型、 高信頼性組織
医療安全危機管理学	
医療安全技術学:	品質管理工学、レジリエンス工学
医療安全情報学:	ITの導入(IoT, AI, など)、第3者チェック、相互チェック、 チェックリスト、透明性と情報公開
医療安全心理学・安全行動学	倫理・モラル
医療安全コミュニケーション学:	
医療安全教育学	
医療安全法学	医療安全の法体系研究、裁判事例研究
医療安全政策学:	安全の公共性の観点から
医療安全経済学	
その他	

つまり、医療安全文化の推進には複合領域の観点が不可欠です。